

## 第3回 柏の葉近隣センター整備検討会 会議録

### 日時

令和8年2月7日(土) 午後2時から4時まで

### 場所

東葛テクノプラザ第二研修室

### 参加者

検討委員 14名

- ・柏の葉地域ふるさと協議会 3名
  - ・柏の葉一丁目自治会, 柏の葉二丁目町会, 柏の葉三丁目町会, 柏の葉キャンパス一番街町会, 柏の葉キャンパス二番街町会, 柏の葉キャンパスゲートタワー管理組合, 柏の葉キャンパスサウスフロント管理組合, 柏の葉公園東町会, 柏市若柴町会, 新若柴町会, 東十余二町会
- 合計 12名

事務局 10名

- ・市民生活部長, 同次長他

傍聴者 3名

### 議事概要

#### 1 開会

#### 2 市(事務局)説明

- (1) 柏の葉近隣センター基本構想について
- (2) 柏市図書館の再編について
- (3) 設計のイメージ
- (4) ワークショップの予定について

#### 3 グループワーク・意見発表

柏の葉地域ふるさと協議会長を座長として進行。

3 グループをつくり(1 グループあたり検討委員 4~5名), グループごとに, 意見交換を行った上で, 発表を行うワークショップ形式で開催した。

### 【基本構想について】

- ・柏の葉近隣センター内に図書館の拠点ができることはうれしいが、拠点としては、柏の葉地域は、柏駅とのアクセスをはじめ市内他地域とのアクセス性に課題を感じている。
- ・町会によっては集まる場所がないため、近隣センターに集まれる場が設けられることは良いと思う。
- ・図書館のような場所で、子どもたちが集まったり、本を読んだり、話し合いができるのは非常に良いと思う。
- ・防災拠点について議論するには、防災上のコンセプトや求められている機能等を明らかにしてもらえると良いと思う。
- ・2,000平米という大きな面積の施設ができると、利用しやすく楽しめる場所となるので、非常に良いと思う。
- ・施設建設により、町会を跨いで共通の趣味やスポーツ等をしやすくなるのではないかと思った。
- ・年齢的な面で運転が難しい方に対して、コミュニティバスやバス便があると良い。
- ・Wi-Fi環境や大判印刷ができるような設備があると良い。

### 【図書館の再編について】

- ・柏の葉地区が図書館の拠点となることは良いことであり、グループ内で、ポジティブな意見が多く出た。
- ・書籍のあり方が変化し、電子書籍や音声コンテンツ等多様な媒体がある中で、新たな図書館の姿をイメージすることは難しい。一方、旧来型の図書館でも、本の検索端末の検索機能が不十分等、機能・役割に関して改善ポイントがあるのではないか。
- ・建物全体が図書館で、お茶を飲むスペースがあり、本を介して交流できるのは非常に良い。
- ・入手の難しい数万円の専門書等が借りやすい環境であると嬉しい。

### 【設計のイメージについて】

- ・コミュニティという部分では、イートインできるスペースがあり、柏市内の特色のある品がおかれていると良いと思う。
- ・柏の葉キャンパス駅を利用する人は、正面玄関ではなく裏側から入るだ

ろうから、そこの入口の動線が狭くなってしまうと使いづらい。

- ・図書館のスペースと外で遊ぶ場所が繋がっているのが非常に良い。
- ・広場にシンボリックな遊具を置いて子どもたちが遊べるような場所になると良い。

#### 【ワークショップ案について】

- ・本検討会やワークショップのように、市民の意見を吸い上げる場を作っていただけるのはありがたい。

#### 【防災拠点について】

- ・柏の葉公園や柏の葉高校、地域の集会所等、周辺に複数の防災拠点が存在していることと、現在の建物については、倒壊の可能性を想定する必要はないと考えられることから、現状のままでも問題ないと思う。
- ・大きな道路を挟んで避難所に行きづらい地域もあることから、近隣センターが避難先の候補になるのではないかと。
- ・各町会で避難所をどのように運営していくのかを考える必要がある。そのうえで、近隣センターは各町会の取組を取りまとめるハブのような立ち位置になることが望ましい。
- ・医師や看護師等の医療面については、各町会での対応が困難であるため、近隣センターに行けば必要な支援を受けられるようになると良い。
- ・柏の葉地域は日中の人口が増加しているため、電車が止まった際の帰宅困難者への対応ができると良い。

（市）

- ・災害時の避難所について、地震の際は（近隣センターも避難所として開設するが、スペースが限られるため、）学校を利用させていただくことを基本としている。また、風水害・台風の際は、市独自の取り組みとして、近隣センターを自主避難所として利用させていただくこととしている。

・近隣センターは「地区災害対策本部」として位置付けており、他の避難所との主な違いは次のとおり

飲食料品の備蓄、市職員による地域内の情報収集・提供をおこなうこと。また、避難場所である学校での避難が長期化した場合には、学校再開に向けた調整が必要となることから、避難規模に応じて、

最終的に避難所を近隣センターへ集約することとなる。

#### 【町会を跨いだ交流について】

- ・産官学との連携は、町会側から仕掛けることが難しいため、市が主導して動いてもらえると、参加しやすい。
- ・趣味の麻雀やゴルフなどについて、大会の開催等のアレンジがあると、町会を跨いだ参加者同士の交流が生まれるのではないかと。
- ・各町会が担っているイベントについて、マーケティングを行うのはどうか。
- ・ボランティア団体の活動の場やスポーツ少年団活動の練習の場としての活用も大事だと思う。
- ・イベントの運営は大変であるため、他の町会が開催するイベントに参加させてもらえると交流が深まるのではないかと。

## 4 その他

(市)

- ・ご提示させていただいた基本構想は、このまま、まとめさせていただき、本日いただいたご意見や課題については、2月末から実施するワークショップの中でも皆さんにお話しいただき、意見を巻き取っていきたいと思っている。
- ・次回検討会は、夏から秋頃を目途に、ワークショップの報告という形で開催を予定している。

## 5 閉会